

取扱説明書



まえがき

この度はランダルコーポレーションの製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。

- この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
- 『安全上のご注意』はご使用前に必ずお読みください。
- この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- お買い上げの製品は 改良などにより この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

M-135D・E

1シリンダー1クランクギャッチベッド

LM-115

1シリンダーギャッチベッド

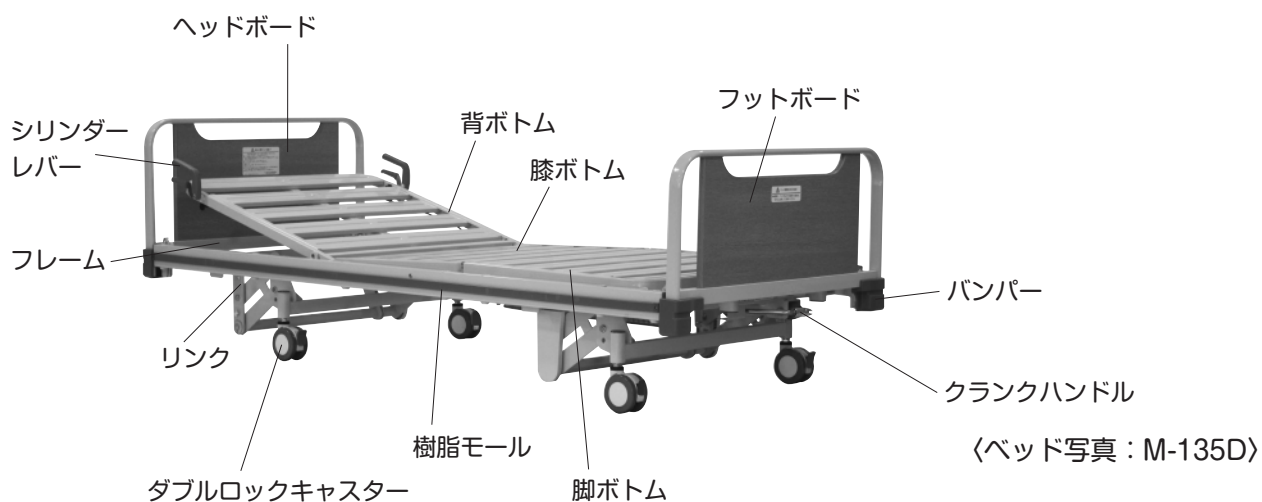
LM-012

床高3段レベルベッド

もくじ

- 1. 各部の名称 1
- 2. 安全にご使用いただくために 2～5
 - 警告マーク 2
 - 安全上のご注意 2
- 3. 日常の使用方法と操作 6～11
 - ベッド設置時のご注意 6
 - ベッドの動き 6
 - ベッドの取り扱い 7～11
 - 1) ベッドご使用前の確認 7
 - 2) ベッドの操作及び組立方法 8～11
 - 3) ベッドの搬送 11
 - 日常のお手入れ 11
- 4. ベッド周辺機器について 12
 - ベッド周辺機器の安全上のご注意 12
 - サイドレールの取り付けについて 13
- 5. 故障時の取り扱いについて 14
- 6. 仕様について 15
- 7. 故障かな？と思ったら 15
- 8. アフターサービスについて 16

1. 各部の名称



2. 安全にご使用いただくために

■ 警告マーク

この取扱説明書では、ベッドを安全に正しくお使いいただくために、守らなければならない内容や、注意する必要がある内容について、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさみ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

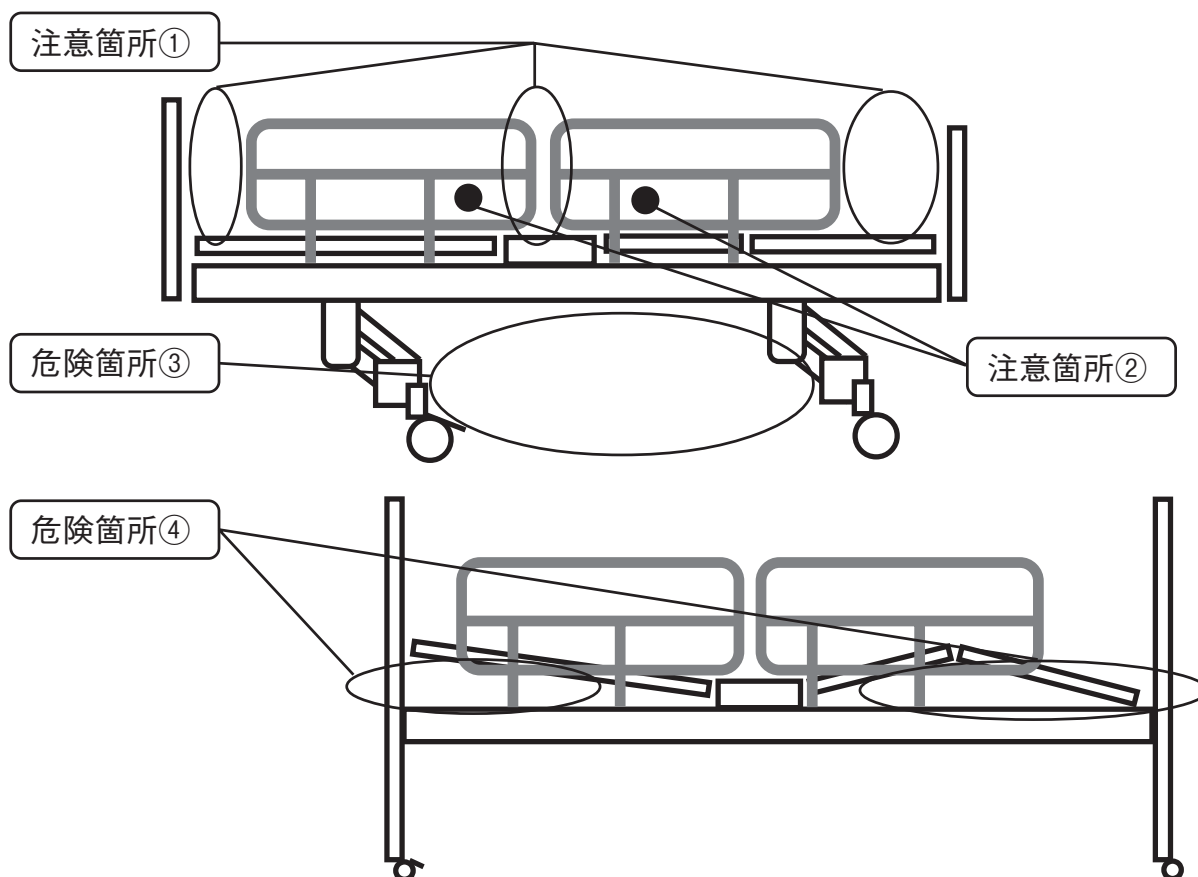


● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

■ 安全上のご注意

3桁シリーズベッドは、病院や施設などの医療機関でのご使用を目的として設計・製造されています。ここでは、3桁シリーズベッドの取扱いに関する全般的な「警告・注意」を示します。

又、下記の「警告」は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。事故を未然に防止するため必ずお守りください。



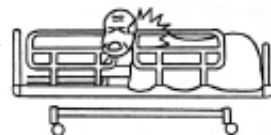
警告

注意箇所①



サイドレールどうしのすき間や、サイドレールとヘッドボードまたはサイドレールとフットボードのすき間に頭や首、肩などが入らないように注意してください。

すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



注意箇所②



サイドレール、介助バー、折りたたみサイドレールのパイプ間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。

パイプの間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



注意箇所③



ベッドを操作する時は、背ボトム・膝・足ボトムの下やベッドの下に体や手足を入れないでください。特に、幼児はベッドに近づけないでください。

ボトムやベッド全体が降下する時、ボトムやフレームに挟まれて、重傷を負う恐れがあります。

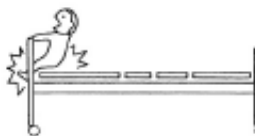


注意箇所④



ベッドの上で遊ばないでください。ヘッド・フットボードおよびヘッド・フットフレーム、本体フレームなどのすき間に手や足がはさまらないように注意してください。

すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



ベッドを操作するときは、12歳以下の子供をベッドに近づけないでください。

目を離れたすきにベッド下部等にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



各部を操作する時は、手指を挟まないでください。

ケガの恐れがあります。



ベッドの上で立ち上がったり、とびはねたりしないでください。

転落して、ケガの恐れがあります。



背・膝ボトムが上がっている状態および足上げの状態で、その部分に腰掛けしないでください。

転落して、ケガの恐れがあります。



サイドレール・介助バー・オーバーテーブル等にぶら下がったり、のったりしないでください。

転落して、ケガをする恐れがあります。



操作を理解できない人にベッドを操作させないでください。誤操作によるケガの原因になります。



ベッドに人が寝ている時は、サイドレールを取り付けてください。

ベッドから転落して、ケガをする恐れがあります。



警告



治療中の人は、医師に相談してから使用してください。
背や足上げ操作により、治療中の症状を悪化させることがあります。



ベッドを分解したり、改造しないでください。
感電や火災、誤動作の原因になります。



可動部分（フレームやボトムの下）に手や足を入れないでください。
はさまれて、ケガをする恐れがあります。



ベッドの高さを変えるときは、介護者の足先に注意をしてください。
はさまれて、ケガをする恐れがあります。



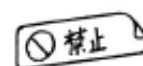
うつぶせ姿勢で背上げ操作をしないでください。
ケガの恐れがあります。



頭側・足側を逆にして寝て、背上げ操作をしないでください。
ケガの恐れがあります。



ベッドに付いている警告ラベルは、はがしたり、消したりしないでください。
危険箇所に気付かず、ケガの原因になります。



注意



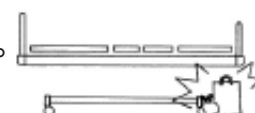
ベッドの回りに作動に障害となるものを置かないでください。
器物破損の原因になります。



フレームを持って移動しないでください。
パイプ脚が外れる可能性があります。



パイプ脚が外れる可能性があります。移動するときは、必ず頭・脚両側のパイプ脚部分を2人で持って移動してください。
片側だけ持ち、引きずると外れてケガをする可能性があります。



お願い



ベッドの耐荷重は 100Kg 以下に設計されています。2人以上の人が乗ったり、強い衝撃を与えないでください。
ベッドの故障の原因になります。

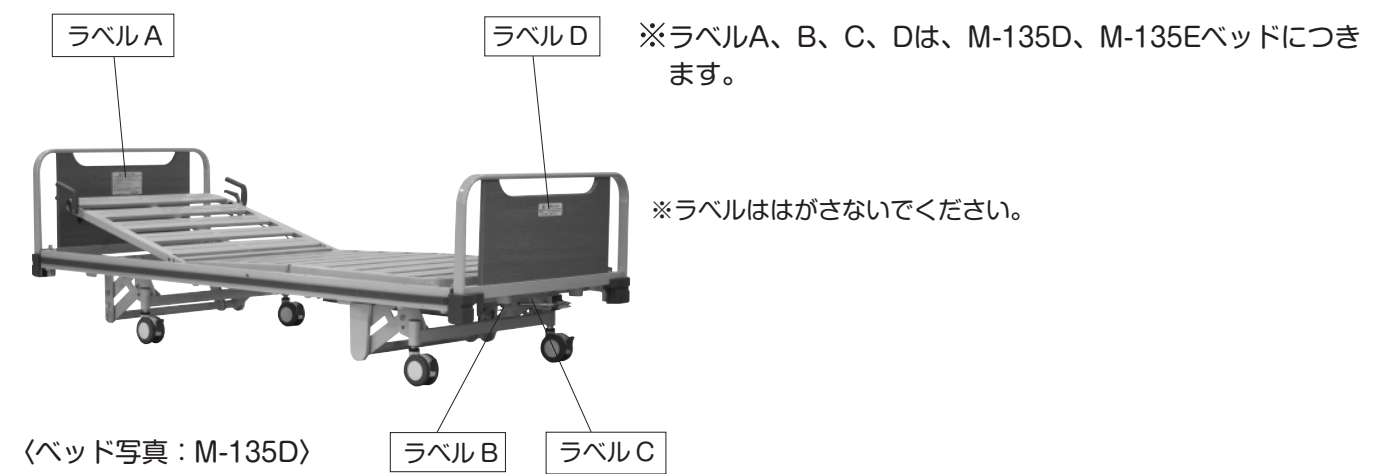


背ボトムや脚ボトムを上げた状態で、その部分に腰掛けしないでください。
ベッドの故障の原因になります。



ベッドに異常を感じたら使用を一時中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店へご連絡ください。
そのままご使用いただくと、ベッドの故障の原因になります。

取扱いに関する「警告・注意」は、ベッドにもラベルで付いています。ラベルの張り付け位置および種類を下記に示します。



⚠ 安全に関するご注意！

下記の事項を遵守しないと重大な事故につながります。

- ベッドを使用中に異常を感じたら、即時に使用を中止すること。
- ベッドの故障等をする場合、必ずベッド周辺・ベッドの下に身体及び手・足・手袋・ベッド・枕など落下物の有無を確認すること。又、患者の手・足・身体などをサイドレールに挟まないように注意すること。
- ベッドの上で立ち上がりたり、2人以上で乗らないこと。
- ベッドに人が乗っている時は、必ずサイドレールを取付けること。

【電動ベッド】

- 電源コードのたこ足配線・折曲げ・挟み込みはしないこと。

【クランクベッド】

- クランクハンドルを動かすとギヤ噛み合わせが壊れますので、必ず使用後は閉鎖すること。又、閉鎖する際に手などを挟まないように注意すること。
- 足を引っかけて転倒しますので、使用後は折りたたみハンドルを閉鎖すること。

※このシーラは絶対に壊さないで下さい。

ランダルコーポレーション

〈ラベルA〉

クランクハンドルで使用するについて

- ベッドの故障等をする場合、必ずベッド周辺・ベッドの下に身体及び手・足・手袋・ベッド・枕など落下物の有無を確認すること。
- ハンドルを動かすとギヤ噛み合わせが壊れますので、必ず使用後は閉鎖すること。また、閉鎖する際に手などを挟まないように注意すること。
- 足を引っかけて転倒しますので、使用後は折りたたみハンドルを閉鎖すること。

〈ラベルB〉

⚠ ケガの恐れあり

1. ベッドの下側に手や足を挟まないこと。
2. ベッドの上で立ち上がり、2人以上で乗らないこと。

〈ラベルC〉

⚠ ベッド設置上のご注意！

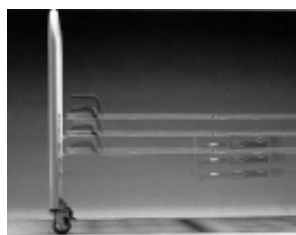
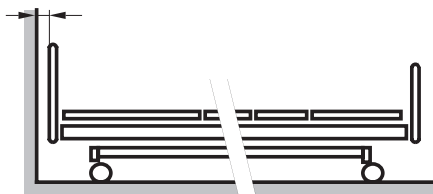
- 壁側にベッドよせて設置する場合は、5cm以上離してご使用ください。

〈ラベルD〉

3. 日常の使用手法と操作

■ ベッド設置時のご注意

5cm 以上離す



■ ヘッドボードを壁側に置く

(ハイロー調節時、壁に障害物がないことを確認して) 壁から 5cm 以上離してください。

■ フットボードを壁側に置く

※クランク式ベッドは操作ができないため、フットボードを壁側に置かないでください。

■ ベッドサイドを壁側に置く

(ハイロー調節時、壁に障害物がないことを確認して) 壁から 10cm 以上離してください。

■ ベッド台ベッドまたはキャビネットの空間

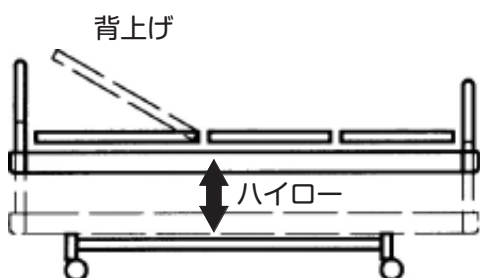
車椅子が通れる程度 (800mm 以上) 離してください。

■ レベルピン式ベッドの高さ調節

ベッドを組立てる際、ベッド本体をヘッド・フットフレームのピンに引っ掛ける位置で、ボトム高さをお選びいただけます。(LM-115、012)
※取扱い方法は、P11 をご覧ください。

LM-115	ボトム高さ	370、445、520mm
LM-012	ボトム高さ	350、425、500mm

■ ベッドの動き



■ 背上げ

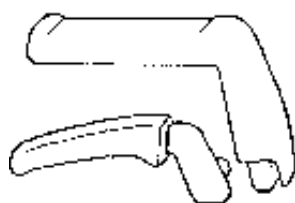
シリンダーレバー操作で背ボトムに下記の範囲で傾斜がつけられます。
全機種 / 0 ~ 80°

■ 腰部沈み込み (背上げに連動)

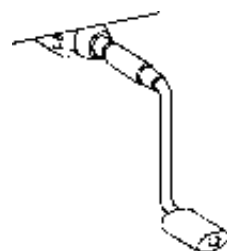
背上げに連動して、腰部が下記の範囲で沈み込みます。
M-135D.135E、LM-115 / 0 ~ -7°

■ ハイロー

クランクハンドル操作でベッドの高さが下記の範囲で調節できます。
M-135D.135E / 245mm ストローク



〈背上げ用シリンダーレバー〉
〈M-135D.135E、LM-115〉



〈格納式クランクハンドル〉
〈M-135D. 135E〉

■ ベッドの取り扱い

1) ベッドご使用前の確認

(1) 設置状況の確認

- ・障害物がないことを確認してください。

(2) ベッド状態の確認

- ・梱包用のビニール、紐が残っていないことを確認してください。

(3) ご使用前の作動確認

- ① 背上げ・ハイローを上限⇄下限の位置まで動かして異音がなくスムーズに作動することを確認してください。



M-135D.135E

- 背 上 げ…シリンダーレバー操作
- ハイロー…クランクハンドル操作



LM-115

- 背 上 げ…シリンダーレバー操作

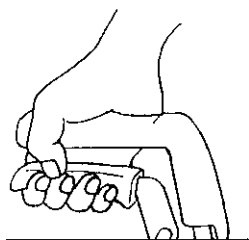


LM-012

2) ベッドの操作及び組立方法

(1) 背上げ操作

【シリンダーレバー操作】(M-135D.135E、LM-115)



〈シリンダーレバーを握る〉

① 背を上げる

シリンダーレバーを握り、背ボトムを引き上げてください。レバーを放すと任意の位置で止まります。

② 背を下げる

シリンダーレバーを握り、背ボトムを押し下げてください。レバーを放すと任意の位置で止まります。

※シリンダーレバーは寝ている方の体重を利用して操作力が軽くなる構造です。人が寝ていない状態では、操作力が重く感じられます。

※寝ている方の体が前に滑って移動しないように、背上げに連動して腰部が0～-7° 沈み込みます。(M-135D.135E、LM-115)



警告

背ボトムの下に体や手足を入れないでください。

背ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。



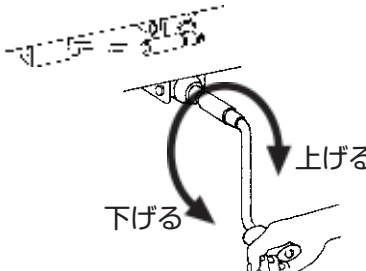
警告

背上げ操作は、ゆっくりと動かしてください。

レバーを放すと急に止まるため、危険をともないます。

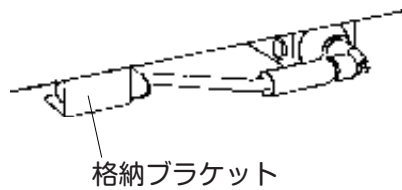
(2)ハイロー操作

【クランクハンドル操作】(M-135D.135E)

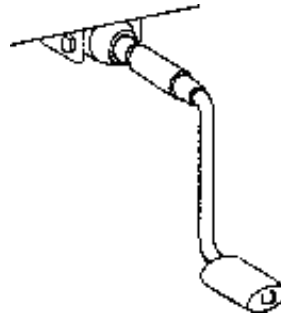
- ①ベッドを高くする
格納ブラケットからクランクハンドルを引き出して右へ回してください。操作終了後、ハンドルは格納ブラケットに戻してください。
- ②ベッドを低くする
格納ブラケットからクランクハンドルを引き出して左へ回してください。操作終了後、ハンドルは格納ブラケットに戻してください。
- 

〈クランクハンドル〉

〈クランクハンドルを回す〉



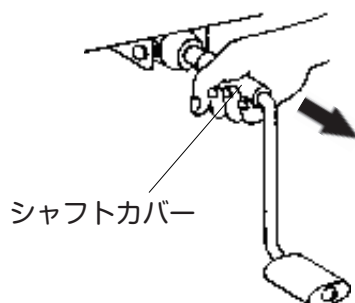
〈ハンドル折りたたんだ状態〉



〈ハンドルをのばす〉

※クランクハンドルの折りたたみ

シャフトカバーを手前に引きいたままハンドルを曲げ、格納ブラケットに引っ掛けてください。



〈ハンドルを折りたたむ〉



警告

ベッドの下に体や手足を入れないでください。
ベッドが降下する時、ベッドの下に挟まれて、ケガをする恐れがあります。



警告

クランクハンドルは操作終了後、格納してください。
ハンドルにつまずいて、ケガをする恐れがあります。

(3) キャスターのロック

【ダブルロックキャスター】(M-135D.135E)

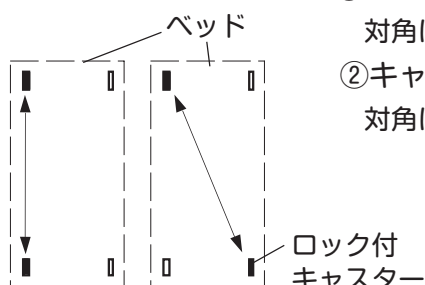
※ダブルロックキャスターは、4 輪全てに付いています。

①キャスターをロックする

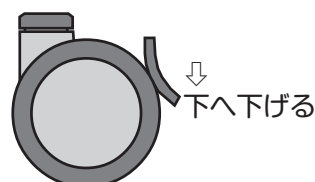
対角に付いたロック付キャスターのロックペダルを踏んで（下げて）ください。

②キャスターのロックを解除する

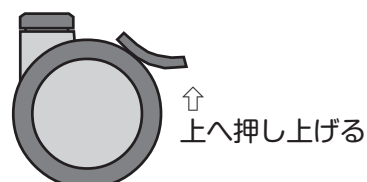
対角に付いたロック付キャスターのロックペダルを上げてください。



〈ロック付キャスター位置〉



〈ロックする〉



〈ロックを解除する〉

【ダブルロックキャスター】(LM-115.012)

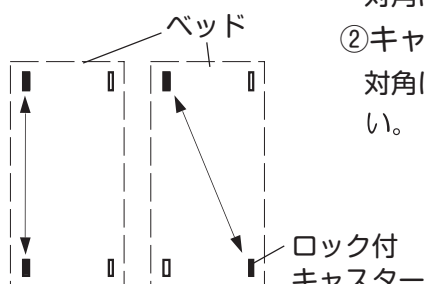
※ダブルロックキャスターは、4 輪全てに付いています。

①キャスターをロックする

対角に付いたロック付キャスターのロックペダルのグレーの部分を押してください。

②キャスターのロックを解除する

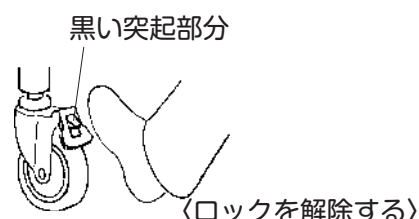
対角に付いたロック付キャスターのロックペダルの黒い突起の部分を押してください。



〈ロック付キャスター位置〉



〈ロックする〉



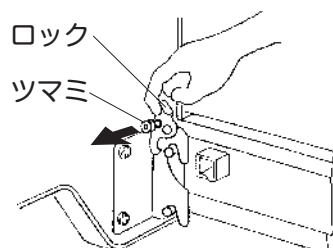
〈ロックを解除する〉



警告

搬送時以外は、キャスターをロックしてください。
ベッドが動いて、ケガの原因になります。

(4) ヘッドボード・フットボードの脱着 (M-135D.135E)



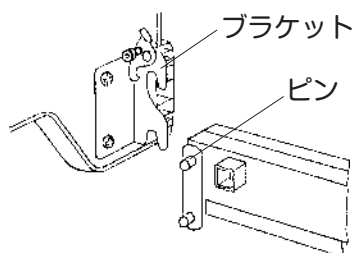
〈ロックを外す〉

①ヘッドボード（フットボード）を取り外す

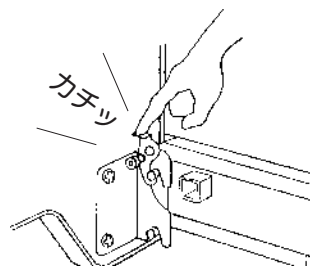
ヘッドボード（フットボード）のロックのツマミを引っ張りながら、左右2カ所を指で引き上げ、ボードを持ち上げて外してください。

②ヘッドボード（フットボード）を取り付ける

ヘッドボード（フットボード）のブラケットをベッド本体のピンに引っ掛け、ロック左右2カ所を「カチッ」と音がするまで指で押し下げてください。
※ツマミを引かずに、ロックが外れないことを確認してください。



〈ピンに引っ掛ける〉



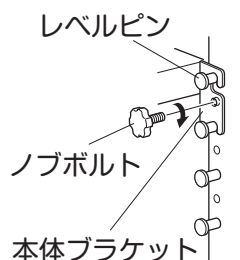
〈ボードをロックする〉



注意

ヘッドボード（フットボード）を取り外す時以外は、ロックをしてください。
ボードが外れて、ケガの原因になります。

(5) レベルピン式ベッドの高さ調節 (LM-115、012)

	LM-115	LM-012
	520mm	500mm
	445mm	425mm
	370mm	350mm

ベッドの本体ブラケットを、ヘッドフレーム・フットフレームの任意の位置に引っ掛けて、ノブボルトを取り付けてください（4カ所）。ボトム高さは左イラストの通りです。

3) ベッドの搬送

(1) ベッドを搬送する前に

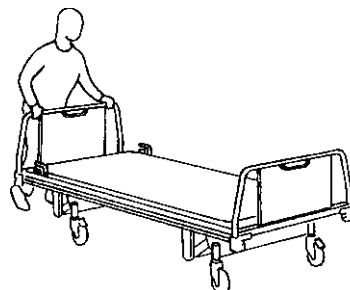
- ①ヘッド・フットボードがロックされているか確認してください。
(ヘッド・フットボードのロック P-10)
- ②キャスターのロックを外してください。(キャスターのロック解除 P-10)

(2) ベッドを搬送する

ヘッドボードおよびフットボードの上部を持って搬送してください。

※ LM-115、012は、フレームを持って搬送しないでください。

組立構造上、外れるようになっていきますので、危険です。上記レベルピン式ベッドの高さ調節 参照



注意



フレームを持って移動しないでください。
パイプ脚が外れる可能性があります。



パイプ脚が外れる可能性があります。
移動するときは、必ず頭・脚両側のパイプ脚部分を2人で持って移動してください。

片側だけ持ち、引きすると外れてけがをする可能性があります。

お願い

- ベッドの搬送は、必ず2人で行ってください。
- サイドレールや介助バーを持って搬送しないでください。
- 床面の大きな段差等はできるだけさけて搬送してください。
ベッドの故障の原因になります。

■ 日常のお手入れ

! 注 意

シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。

● ベッドのお手入れ

水で薄めた中性洗剤に布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き、乾いた布でよく拭き取ります。シンナー・ベンジンなどの揮発性の高い薬品は絶対に使用しないでください。

● マットレスお手入れ

使用の状態に応じて2週間から4週間に一度、ベッドから降ろし風通しの良いところで陰干してください。

● ネジ類のゆるみの点検

ゆるんでいるネジは締めるようにしてください。
ノブボルトなど、取り付けネジがゆるんでいないか時々点検してください。

4. ベッド周辺機器について

■ ベッド周辺機器の安全上のご注意



オプションは、弊社指定の適合品以外の製品とは組合わせないでください。
破損、転落、転倒して、ケガの原因になります。



幼児や小さなお子様をサイドレール・介助バー・テーブルパネル等で遊ばせないでください。
ケガの原因になります。



サイドレール・テーブルパネル等に腰掛けたり極端な荷重をかけないでください。
壊れて、ケガの恐れがあります。



サイドレール・テーブルパネル等に付属以外の部品を使ったり改造しないでください。
破損の原因になります。



サイドレールのパイプの間やすき間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。
すき間に挟まれて、死亡、重傷の恐れがあります。

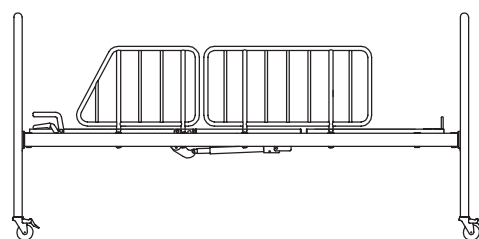
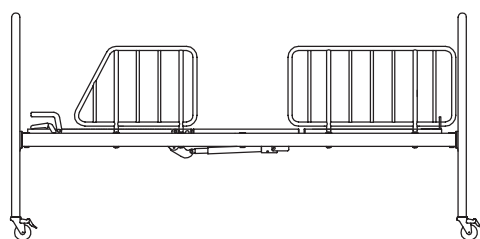
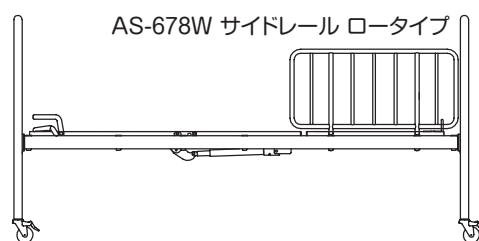
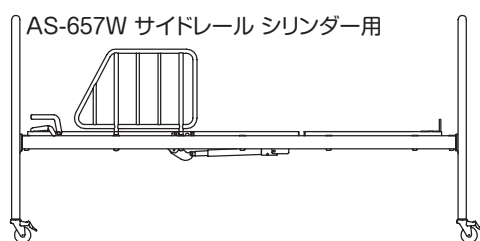


サイドレールを持って起き上ったり、ベッドを搬送しないでください。
変形して、ケガの原因になります。

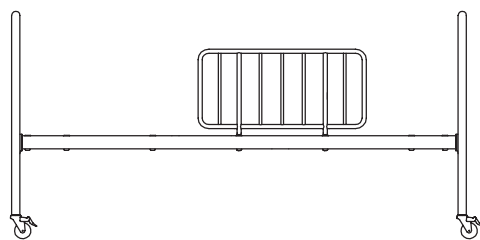
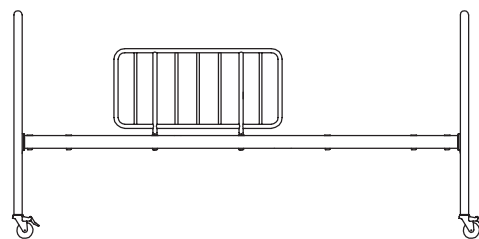
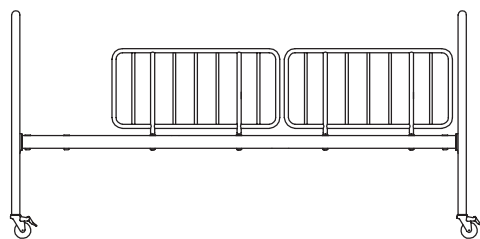
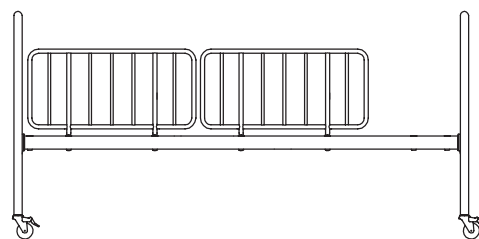
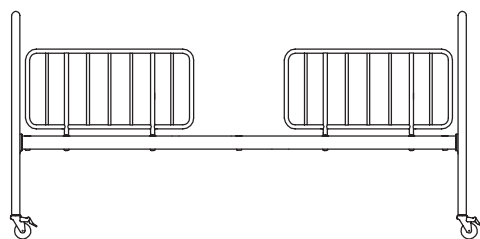
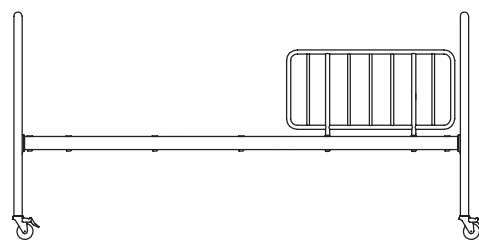
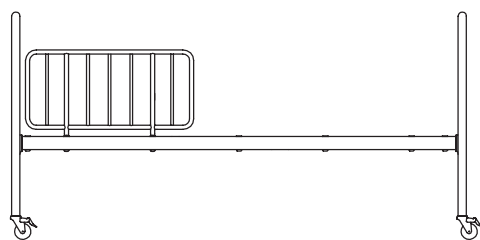
■ サイドレールの取り付けについて

サイドレールの取り付けは下記の図表を参照して、正しい組合わせで、また正しい向きで取り付けてください。

LM-115 1 シリンダーギャッチベッドの場合



LM-012 床高 3 段レベルベッドの場合



5. 故障時の取り扱いについて

ベッドの故障時に背ボトムが上がったままの状態を平らにすることができます。

※ M-135、LM-115 のみ

⚠ 注 意

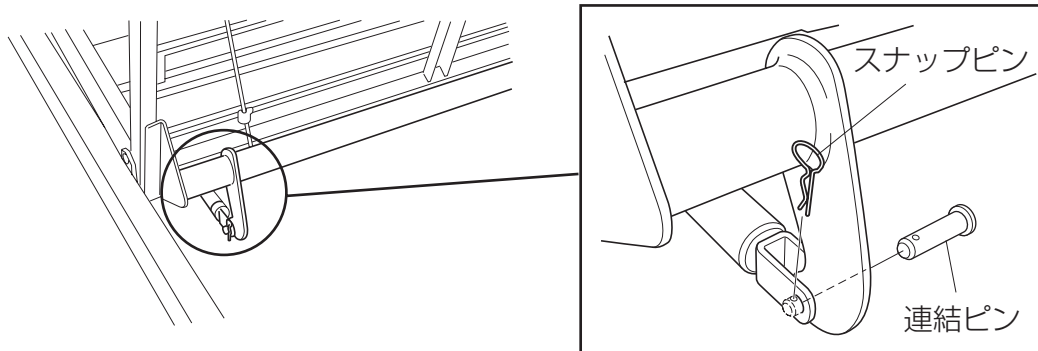
駆動部の連結部を外すことにより行います。ベッドをはじめの状態に復旧させるものではありません。ベッドの故障が回復するまで使用できません。

- ①寝具やマットレスを降ろします。
- ②背ボトム駆動部の連結を解除します。

⚠ 注 意

連結部を解除すると、シリンダーにより駆動していた部分が自由な状態となり平らな状態へ戻ります。手などをはさまないように注意してください。

背ボトムの裏側に図のような連結部があります。連結部を固定しているスナップピンを抜き連結ピンを取り外します。



6. 仕様について

型式		M -135	LM-115	LM-012
名称		1 シリンダー 1 クランク ギャッチベッド	1 シリンダーギャッチベッド	床高 3 段レベルベッド
動作	背上げ	シリンダーレバー操作		－
		0 ～ 80 度		
	腰部沈み込み	背上げに連動		－
		0 ～ -7 度		
	ハイロー (高さ調節)	クランクハンドル操作	－	
ストローク 245mm				
寸法	全長	2140mm・2120mm	2108mm	
	全幅	930mm	920mm	
	全高	720 ～ 965mm、710 ～ 955mm	1058mm	
	床高	350 ～ 595mm	370・445・520mm	350・425・500mm
	床幅	830mm		
	床長	1920mm		
	床ボトム数	3	3	1
キャスター		Φ 100mm ダブルロックキャスター	Φ 75mm ダブルロックキャスター	
材質	フレーム	スチール製、粉体塗装		
	ボトム	スチール製、スノコ式、粉体塗装		
	ヘッドフット ボード	スチールフレーム 木製ボード付・木製取っ手付	スチール製、粉体塗装	
	サイドモール	樹脂モール付	－	
サイドレールホルダー		7 個	5 個	
I Vホルダー		(サイドレールホルダー兼用)	4 個	

7. 故障かな？と思ったら

■ 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

チェック 1 ※ M-135,M-115 のみ

症状：クランクハンドルやシリンダーレバーを操作しても動作しない。

対応：フレームやボトムなどが紐で縛られていませんか？紐を取り外してください。

チェック 2 ※ M-115,M-012 のみ

症状：床高を変えたいが、本体フレームとパイプ脚が外れない。

対応：ノブボルトが取り付けられていませんか？ノブボルトを取り外してください。

8. アフターサービスについて

■ 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

日付の記入がない場合は、ベッドお買い上げの領収書と保証書を一緒に保管してください。

■ 修理を依頼されるとき

〇〇に従って調べてください。それでも直らない場合は、ベッドの電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、または弊社営業所・サテライトにご連絡ください。

◎連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障、または異常の内容
- お名前、ご住所、および電話番号

◎保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも修理が有償となる場合があります。

詳しくは保証書をご覧ください。

◎保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

■ 製品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後、7年としております。

ランドルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430
青森サテライト	〒030-0921 青森県青森市原別8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
八戸サテライト	〒039-1164 青森県八戸市下長8-10-8 TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213
秋田サテライト	〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反170-81 TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862
岩手営業所	〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒984-0821 宮城県仙台市若林区中倉3-17-54 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉営業所	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒193-0824 東京都八王子市長房町22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒120-0005 東京都足立区綾瀬1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園2-9-21 RTサンライト101号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜サテライト	〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒485-0059 愛知県小牧市小木東1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒578-0981 大阪府東大阪市島之内2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
岡山サテライト	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066

株式会社ランドルコーポレーション本社

〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712
営 業 部 : TEL.048-475-3662